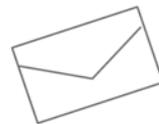




公益財団法人 東京YMCA

# 『石巻通信』VOL.3

2012年7月17日  
東京YMCA 会員事務局



## 歌・交わり・癒し ～YMCA歌の広場～

東京YMCAでは、石巻・女川地域の仮設住宅などを法音して、懐かしの唱歌・童謡を歌う「YMCA歌の広場」を月に1度開催しています。

6月25日は山手グループが「グループホームあゆかわの郷」を訪問し、7月11日は世田谷グループが「女川町石巻パイパス仮設住宅集会所」を訪問しました。

「グループホームあゆかわの郷」では、2011年12月、今年3月に引き続き3度目の開催になりました。利用者の皆さん、スタッフとともに、YMCAを心待ちにしてくださり、「YMCAありがとう」と手作りのバナーを作って歓迎してくださいました。施設利用者・スタッフ・YMCA 東山荘ボランティア合わせて30名ほどが、アットホームな雰囲気の中で、交わりの一時を持ちました。「女川町石巻パイパス仮設住宅集会所」は、今回が初めての訪問でした。女川社協から「支援の手が入らず、孤立してしまっている地域をお願いしたい」ということで、依頼されました。



グループホームあゆかわの郷での記念撮影  
(6月25日)



上：石巻パイパス仮設住宅での活動の集合写真（7月11日）  
下：あゆかわの郷での活動の様子。触れ合い。（6月25日）



団地内の2箇所の集会所で、合わせて35名ほどが参加。「震災以降、毎日、起きて飯食って寝るだけの生活をしてきたから、今日は久しぶりにうんと歌った」という高齢者の方も珍しくありません。参加者は皆、女川町で被災し、抽選で町内の仮設住宅に入れなかったため、この石巻市の郊外の仮設住宅に移ってきた人たち。周囲はどこまでも続く田園風景で、一番近いスーパーまで車で15分ほど。ボランティアももうほとんど来ない。そんな過酷な環境の中で、今回の歌の広場で、声を出し、人との交わりの時を持たせたことが、被災された方々の心身の癒しになったことと思います。

「あゆかわの郷」では7月1日に江東ワイズにより花壇にプランターの花を植えるプロジェクトも持たれました（石巻通信 vol2 参照）。このように繰り返し訪問させて頂いたことで、YMCAとの関係が深まり、地域に根ざした支援活動も広がりを見せています。一方で、女川町の仮設のように、支援の手が全く入らず孤立してしまっている地域が多々あるのも事実です。

### 東日本大震災救援復興募金

- ・ゆうちょ銀行（郵便振替）  
振替口座：00120-7-714728  
名義：公益財団法人 東京YMCA
- ・銀行振り込み  
みずほ銀行 神田支店 普通 1677931  
三井住友銀行神田支店 普通 7656469  
名義：公益財団法人 東京YMCA  
※「東日本震災」とお書き添えください。